

著者名:	論文題名:	掲載誌名:	掲載巻:	掲載号:	発行年:	掲載頁:
栗原百寿	ヘーゲル・ルネッサンスの問題—その方向係数の決定	思想		101	1930	p115~127
三枝博音	ヘーゲルの百年祭について	ヘーゲル及弁証法研究		30	1931	p1~7
三木清	ヘーゲル復興とその方向	中央公論		518	1931	p33~47
河野与一	ヘーゲル・コンGRES	思想		116	1932	p123~132
小塚真一郎	伯林に於けるヘーゲル祭	哲学雑誌		539	1932	p101~109
古市恵太郎	英米における最近のヘーゲル研究について	徳島大学学芸紀要(人文科学)		4	1955	p17~28
中埜肇	ヘーゲル・コンGRESに参加して	理想(ヘーゲル)		449	1970	p107~121
中埜肇	ヘーゲル・コンGRES[シュトゥットガルト、東ベルリン]報告(学界動向)	立命館経済学	19	4	1970	p136~145
河西章	フランスにおけるヘーゲル研究の概観	唯物論		16	1971	p45~62
上妻精	ヘーゲル哲学研究の動向—回顧と展望	思想		563	1971	p109~129
竹内良知	1971年回顧 哲学思想 ヘーゲル研究の前進	週刊読書人		1057	1971	p4
細見英	新版『ヘーゲル復興』の動向—生誕200年をふりかえって(学界展望)	経済学史学会年報		9	1971	p10~18
上妻精	初期ヘーゲル研究の動向	季刊社会思想	2	1	1972	p239~292
岩津洋二	フランスにおけるヘーゲルの再発見—『現象学』の特異な評価	現代の理論(特集ヘーゲルからマルクスへ1)	10	7	1973	p109~122
上妻精	ポツダム訪問	実存主義		64	1973	p49~57

出口純夫	ヘーゲル研究の現状	創文		193	1980	p18~19
赤井正二・ 太田信二・ 勝木吐夢・ 照井日出喜	ヘーゲル研究紹介ー70年代 西ドイツの文献について	唯物論研究		5	1981	p177~ 184
上妻精	戦後ヨーロッパのヘーゲル研 究ー主に社会倫理を中心とし て	社会思想史 研究		5	1981	p173~ 197
本多修郎	「ヘーゲル及弁証法研究会」 始末記	社会科学の 方法	14	10	1981	p8~10
島崎隆	ヘーゲル論理学の注釈書を めぐって	唯物論研究		6	1982	p136~ 147
藤原保信	イギリスにおけるヘーゲル研 究の動向	社会思想史 研究		6	1982	p213~ 224
加藤尚武	最近のヘーゲル研究事情	理想		605	1983	p56~61
花田圭介	第14回国際ヘーゲル会議に 出席して(学術研究の動向)	学術月報	36	1	1983	p25~29
藤田正勝	現代ドイツにおける『精神現 象学』研究の状況と意味	理想		605	1983	p62~77
谷嶋喬四郎	国際ヘーゲル学会の現況	社会思想史 研究		8	1984	p178~ 193
加藤尚武	ヘーゲル研究の曲がり角	理想		620	1985	p232~ 241
近藤重明	現代ドイツ美学の一面ーヘー ゲル美学をめぐって	愛媛大学教 育学部紀要		17	1985	p87~98
藤田正勝	新ヘーゲル全集(Hegels Gesammelte Werke)刊行の 第二段階を迎えて	創文		252	1985	p40~44
高坂史朗	近代日本哲学における『弁証 法』の受容(上)	近畿大学教 養部研究紀 要	18	1	1986	p104~83

高坂史朗	昭和6年のヘーゲル主義－近代日本哲学における『弁証法』の受容(下)	近畿大学教養部研究紀要	19	1	1987	p94～79
久保陽一	ヘーゲル学会(シュトゥットガルト)の様子などについて	ヘーゲル研究		5	1988	p87～91
G. エウジェニオ	19世紀イタリアのヘーゲル哲学－政治と哲学下〔含資料〕(福田静夫訳)	日本福祉大学研究紀要	79		1989	p25～69
杉田正樹	ドイツにおけるヘーゲル『論理学』研究の動向	理想		641	1989	p122～132
権左武志	ヘーゲル法哲学講義をめぐる近年の論争2完	北大法学論集	41	1	1990	p145～176
権左武志	ヘーゲル法哲学講義をめぐる近年の論争1	北大法学論集	40	5.6	1990	p2411～2447
島崎隆	ヘーゲル研究の新段階－フィロロギーとイデオロギーの対立を超えて	社会学研究	28		1990	p81～154
長澤邦彦	国際ヘーゲル学会・国際フィヒテ学会報告	ヘーゲル学報		創刊号	1990	p266～274
黒崎剛・長島隆	最近のヘーゲル自然哲学研究の動向－文献紹介をかねて	自然哲学研究		4	1991	p53～78
山崎純	シュトゥットガルトの世界精神－ヘーゲル記念館の開設	ヘーゲル研究会通信		4	1991	p2～3
溝口兢一	愛媛大学附属図書館所蔵「ヘーゲル・コレクション」について	ヘーゲル学報		2	1992	p140

山口誠一	日本のヘーゲル研究—『精神現象学』を中心に	理想		648	1992	p97~110
山口誠一	ヘーゲルはどこにいるのか？—ボーフムとミュンヘン	未来		313	1992	p22~25
山口誠一	最近のドイツ哲学の一断面	Philna(自然哲学研究)		5	1992	p3~4
山口誠一	ドイツでのヘーゲル研究	ヘーゲル研究会通信		5	1992	p2~3
加藤尚武[インタビュー]岩崎稔	動態的ヘーゲル新たなヘーゲル像を求めて	現代思想	21	8	1993	p18~43
杉田正樹	何のためのヘーゲル？	図書新聞		2159	1993	p2
滝口清栄	ヘーゲル宗教哲学解釈論争とヘーゲル左派	現代思想	21	8	1993	p260~263
竹村喜一郎	法哲学	現代思想	21	8	1993	p252~
竹村喜一郎	ヘーゲル社会—歴史哲学の今日性	図書新聞		2159	1993	p1
多田茂	デュージング・テーゼ	現代思想	21	8	1993	p248~251
山口誠一	いま、なぜヘーゲルか？	図書新聞		2159	1993	p1
山崎純	ヘーゲル「宗教哲学」研究の新段階—旧版の問題点と国際共同編集版の意義	人文論集(静岡大学人文学部)	43	2	1993	p61~109
寄川条路	ドイツ観念論最古の体系プログラム	現代思想	21	8	1993	p236~239
山口誠一	統一ドイツと最近のヘーゲル研究	上妻精他編『ヘーゲル』(情況出版)			1994	p333~356
寄川条路	構築と歩み—ヘーゲル研究の課題と展望(公募論文<特集>)	哲学		46	1995	p141~149

張桂権	中国におけるヘーゲル研究	ヘーゲル哲学研究		2	1996	p102～110
山崎純	講義録新資料にもとづくヘーゲル像の刷新—後期発展史研究の前進のために	ヘーゲル哲学研究		2	1996	p96～102
寄川条路	新しいヘーゲル研究—ヘーゲル・アルヒーフから	ヘーゲル哲学研究		2	1996	p93～96
加藤尚武	上妻精先生追悼	ヘーゲル哲学研究		3	1997	p124～125
神山伸弘	ヘーゲル手稿拝観	ヘーゲル哲学研究		3	1997	p104～108
久保陽一・黒崎剛	ヘーゲル<論理学>研究会	理想		660	1997	p158
幸津國生	ヘーゲル研究国際共通語としてのドイツ語(前篇)	ヘーゲル哲学研究		3	1997	p109～115
多田茂	国際的な自然哲学研究会「ヘーゲル自然哲学の源泉と受容」	ヘーゲル哲学研究		3	1997	p94～97
日暮雅夫	フランクフルトにおけるヘーゲル研究	ヘーゲル哲学研究		3	1997	p98～103
山崎純	ヘーゲル「世界史の哲学」講義の最新の資料状況について	ヘーゲル哲学研究	48	1	1997	p1～14
寄川条路	研究の源 ベルリン国立図書館「ヘーゲル自筆草稿一覽」	ヘーゲル哲学研究		3	1997	p85～89
幸津國生	ヘーゲル研究国際共通語としてのドイツ語(後篇)	ヘーゲル哲学研究		4	1998	p54～60
星野勉	理性と歴史—ヘーゲルと現代英語圏の哲学	ヘーゲル哲学研究		4	1998	p54～60

門倉正美	ドイツのヘーゲル研究	加藤尚武編 『ヘーゲルを 学ぶ人のた めに』(世界			2001	p243～ 255
佐々木俊三	フランスのヘーゲル研究	加藤尚武編 『ヘーゲルを 学ぶ人のた めに』(世界			2001	p256～ 270
山田忠彰	「隠れた世界」へー現代イタリ ア哲学の一動向—	ヘーゲル學 報	5		2003	p213～ 221
飛田満	現代ドイツにおけるヘーゲル 『精神現象学』の研究史	目白大学人 文学研究	1		2004	p1～10
大河内泰樹	「第25回国際ヘーゲル学会 大会」報告—あるいはある日 本人若手(?)研究者の国際 学会発表奮闘期	ヘーゲル哲 学研究	11		2005	p152～ 157
久保陽一	「ヘーゲルのイエナ期の体系 構想」に関する学会(2003年4 月 ロッテルダム)	ヘーゲル哲 学研究	11		2005	p147～ 151
久保陽一	最近のドイツにおけるヘーゲ ル研究の諸傾向	駒沢大学文 化	23		2005	p5～15
大橋良介	国際学会参加報告 国際シン ポジウム「ヘーゲル『精神現 象学』二百年」(2006年10 月、イエーナ)	ヘーゲル哲 学研究	13		2007	p213～ 216
徳増多加 志・渋谷繁 明・野尻英	アメリカ合衆国におけるヘー ゲル研究の動向	ヘーゲル哲 学研究	13		2007	p28～41
中村浩爾	海外動向 アメリカにおける最 近のヘーゲル研究	法の科学	38		2007	p182～ 188

滝口 清栄	シンポジオン ヘーゲル法哲学をめぐって--研究の現状と課題	アソシエ	20	2008	217~219
岩波 哲男	ヘーゲル研究のゆくえ	ヘーゲル哲学研究	14	2008	3~7
山田 有希子	ヘーゲル論理学に関する邦語文献の動向調査(二〇〇一-二〇〇七年)	ヘーゲル哲学研究	14	2008	202~196
飛田 満	『精神現象学』研究史—ドイツにおける200年	ヘーゲル哲学研究	12	2006	84~97
山口 祐弘	国際ヘーゲル学会参加報告(2005年5月シュトゥットガルト)	ヘーゲル哲学研究	12	2006	209~217